

月次報告書

(令和4年5月度)

1. 所感 「菖蒲にちなむ風景」

新緑の木々をわたる爽やかな風に生命の息吹を感じる季節になりました。この時季に子供の健やかな成長を祈願する「こどもの日」があるのも宜なるかな、と思います。いうまでもなく「こどもの日」は端午の節句に由来します。端午とは牛の月（五月）の最初（端）の牛の日の節句という意味ですが、牛を五に読み替えて五月五日となったようです。もちろん旧暦ですから今年は六月三日になりますが、今では新暦のほうが馴染んでしまいました。

端午の節句といえば菖蒲がつきもので、菖蒲の節句ともいわれるほどです。菖蒲は薬草で、菖蒲湯の風習は中国、そして朝鮮半島にも見られ、奈良時代には日本に伝わっていたようです。また、菖蒲はヨモギとともに、その香気によって邪気を払うと信じられていたようです。

『枕草子』（第三十九段）には「節は五月にしく月はなし。菖蒲・蓬などのかをりあひたる、いみじうをかし（節句は五月にまさる月はない。菖蒲やヨモギなどの香気に接することはとても趣がある）」とその香りを賞賛しています。菖蒲が宮中の御殿のみならず庶民の家の屋根にも葺かれている光景に新鮮な感動をおぼえると清少納言は綴っています。また、菖蒲の葉や根を手紙の結びに使ったり、手紙の中に入れておくなどといった情趣ある遊び心を讃えています。

『伊勢物語』（第五十二段）には“あやめ”が菖蒲の歌枕として詠われています。菖蒲を沼地で刈って粽を包みしぼる「かざり粽」を女性から贈られた男が、狩りに出ていて会えなかったことを残念がる歌を、狩りで採ったキジに添えて送った逸話が語られています。節句の食べ物である粽を菖蒲でしぼる風習が平安時代にはあったことを教えてくれます。

五月五日を「女の節供（句）」とする風習もあったようです。五月五日或いは前夜、家屋の屋根を菖蒲とヨモギで葺き女性がお籠りをするという風習が伝えられている地方もあります。『広辞苑』ではそれを「葺き籠り」として採録しています。

このように邪気を払い、薬として珍重された菖蒲も、今では花菖蒲と混同されてしまうほど地位が低下しました。そこで、昔の人々から伝えられた風習や情趣を知り、コロナやウクライナ問題なども含めた時節や世相を鑑みて“心の邪気を払う菖蒲”を改めて見直したいものです。

2. 行事等(令和4年4月)

開催日	行事名
1日(金)	事業推進検討委員会
12日(火)	理事候補者選考委員会
26日(火)	安全巡回指導/4月度安全・適正就業委員会
28日(木)	正副理事長会議/理事選考委員会

3. 業務遂行上の留意点

<p>●心が疲れやすい変化の春 《セルフケアで心のメンテナンス》</p> <p>☆自分のストレスに気づこう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悲しみ、憂うつ感、不安、イライラ、食欲不振、眠れないなど <p>☆ストレスへの対応 次のことを心がけましょう！</p> <p>《健康的な生活の3本柱》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠→目覚めたら朝日を浴びよう ・食事→豚肉や大豆に含まれるビタミンB1には疲労回復効果あり ・運動→散歩しよう エレベーターより階段を使おう
--

4. 事業実績

		令和4年4月	前年同月	累計進捗	前年同月累計進捗
登録会員数(人)		328	342		
受託件数 (件)	請負	134	238	134	238
	派遣	10	7	10	7
契約金額 (円)	請負	6,200,452	10,818,990	6,200,452	10,818,990
	派遣	1,438,700	1,402,624	1,438,700	1,402,624
就業実人数 (人)	請負	175	193	175	193
	派遣	23	19	23	19
就業延人数 (人)	請負	1,651	2,530	1,651	2,530
	派遣	274	232	274	232

5. 会員の退会(令和4年4月1日~30日)

退会会員		
会員No	氏名	所属地域班
1118	川口 キミ	北部 星河北部班
1803	伊藤 良和	南部 駒形・忍班
1927	栗原 広子	南部 埼玉東部班
1934	梅原 茂	西部 持田西部班
2001	小林 英治	北部 星河南部班
2048	新井 ノリ子	西部 持田南部班

入会時オリエンテーションのお知らせ
 入会されました会員を対象に、入会説明会で説明出来なかったセンター事業や就業に関する詳細について説明会を行うものです。
 また、簡易的な面談やこれからの就業に係る説明を行いますのでご参加ください。
 日時: 5月26日(木) 13時30分~
 場所: センター 講習室

